

2023年12月1日 策定  
2025年12月1日 改訂

# 宣研ロジエ株式会社 DX推進ビジョン

代表取締役 富居 公泰

# DX推進ビジョン

## 1. 社内DX推進による生産性向上とデータドリブン経営の実践

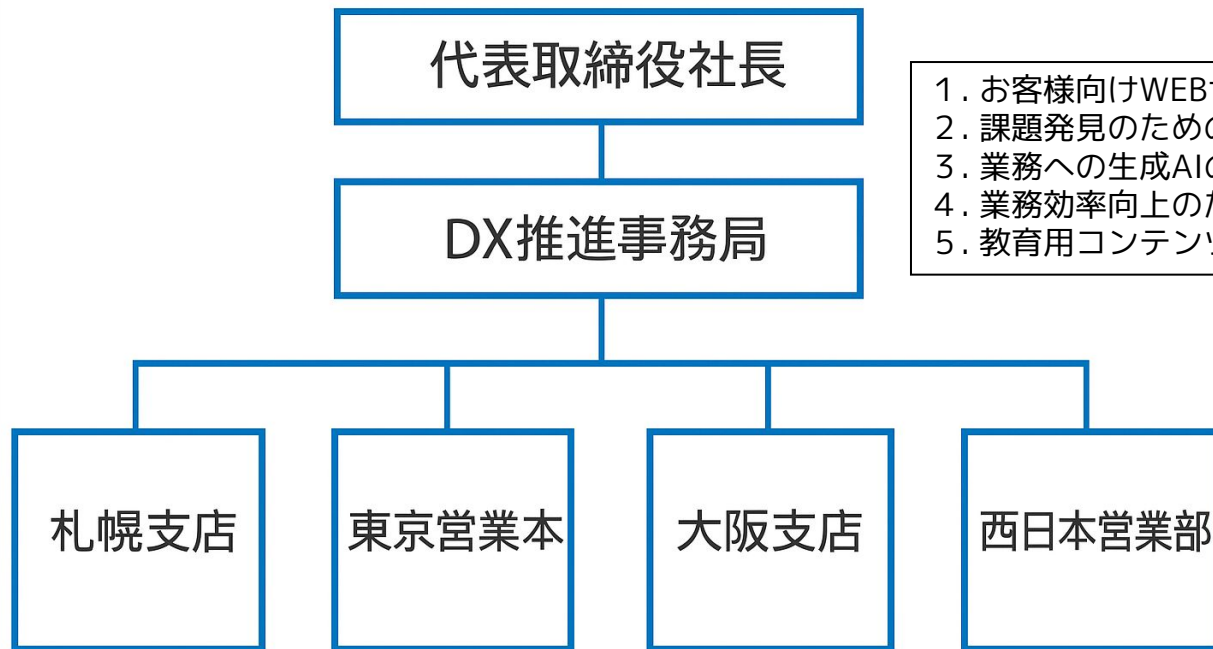
- (1)受注システムによる正確な販売情報の一元管理とデータの蓄積
- (2)DWHを構築し、生成AIを活用することで業務の効率化を推進
- (3)業務システムを活用した顧客情報の管理と活用

## 2. 人材育成

- (1) デジタルマーケティング人材育成（WEBマーケティング）
- (2) DXコンサルティング人材育成
- (3) 業務への生成AIの活用に関する定期的な研修の実施

# DX推進の取り組み - DX推進強化における組織編制

2023年10月より、社内DXを推進するための事務局を新設、  
社内DXの課題を部横断で共有し、迅速に課題解決を実現できる体制を構築しています。



1. お客様向けWEBサービス開発
2. 課題発見のためのデータ分析
3. 業務への生成AIの活用
4. 業務効率向上のためのスキーム開発
5. 教育用コンテンツ開発

# DX推進の取り組み - 推進計画

## DXビジョンに基づく推進項目

1. 社内DXの推進による生産性向上と  
データドリブン経営の実践

2. 人材育成

## 推進計画

- (1) 受注システムによる正確な販売情報の一元管理とデータの蓄積
- (2) DWHを構築し、生成AIを活用することで業務の効率化を推進
- (3) 業務システムを活用した顧客情報の管理と活用

- (1) デジタルマーケティング人材育成（WEBマーケティング）
- (2) DXを活用したコンサルティング人材育成
- (3) 生成AI活用に関する定期的な研修を実施

### 上記計画達成時の指標

- |                    |        |        |
|--------------------|--------|--------|
| 1. 社内DXの推進による生産性向上 | 業務削減時間 | 1000時間 |
| 2. 新規顧客の獲得         | 前年比    | 10%増   |
| 3. 人材育成            | 資格取得者  | 10名    |

# DX推進の取り組み - DX戦略

## DX戦略

社内DX推進による  
生産性向上と  
データドリブン経営の実践

バックオフィス業務は、デジタルで業務の効率化を推進し、業務システムを活用することで、お客様情報を一元管理し、品質の高いサービスが提供できるように取り組んでいます。

新規事業戦略

新規事業として、金融機関のお取引先へのDXコンサルティングとDXソリューション導入支援を提供します。

人材育成戦略

常にトップクラスのDX推進ができるよう、計画的な**社内人財の育成**と、**パートナー企業連携**を促進します。

# 当社のDX戦略

	Phase1 ~2023年	Phase2 ~2025年	Phase3 ~2026年
バックヤード	<b>IT活用による業務効率化</b> DWHを構築し、BIツールを活用することで業務の効率化を推進	<b>生産性の向上</b> データを基にした会話ができる環境づくり 各部門での業務改善による生産性向上	<b>DX人材の育成</b> DXコンサルティングができる人材を育成
環境整備	<b>ITインフラの整備</b> 社内使用ツールの見直し DWHの構築とBIツールとの連携	<b>ITインフラの見直し</b> 事業拡大に伴う ITインフラの見直し	<b>基幹システムの入替え</b> 社内システムのオペレーションコストの削減
新事業 既存事業変革	<b>既存取引先に向けたDXソリューションの提供</b> 金融機関へのDXソリューションの提供	<b>新規業態の顧客の開拓</b> 金融機関のお取引先（新規業態）に向けたDXソリューションの提供を実施	<b>コンサルティング事業の提供</b> 既存業態・新規業態に向けたDXコンサルティングの提供

# DX推進の取り組み - DXシナリオ1

## 1. 社内DX推進による生産性向上とデータドリブン経営の実践

### (1)受注システムによる正確な販売情報の一元管理とデータの蓄積

受注システムと会計システムを連携することで、正確な売上や銀行残高、売掛金、前受金等のデータから資金繰りの計画や事業判断を正確にできるようになりました。

### (2)DWHを構築し、生成AIを活用することで業務の効率化を推進

業務システムで業務に関する作業時間や工程数等を収集し、非効率的な内容を生成AIの活用で改善することで生産性の向上を実現しています。

### (3)業務システムによる業務データを活用した業務改善

お客様情報、ライバル情報を一元管理し、お客様への訪問計画データと訪問実績データを蓄積・活用することでお客様満足度の向上に貢献しています。

# DX推進の取り組み - DXシナリオ2

## 2. 人材育成

### (1) デジタルマーケティング人材育成（WEBマーケティング）

ウェブ解析士・上級ウェブ解析士資格取得に向けた支援を実施します。

### (2) DXコンサルティング人材育成

DX先進企業への定期的な視察の実施と、自社へ他社の視察の受け入れを行い、中小企業へのDXコンサルができる人材を育成をします。

### (3) 生成AIに関する定期的な研修の実施

人材育成計画に沿った定期的な研修を実施し、業務において生成AIを活用できる人材を育成します。



# DX推進の取り組み - 環境整備の具体的方策

**当社ではDXの推進のために下記のような環境整備に取り組んでいます。**

1. ビデオ通話での全体会議・個別MTG実施の推進
2. ビデオ通話でのサービス提供の推進
3. 受注システムによる販売情報の一元管理・蓄積
4. DWHを構築し、BIツールを活用することで業務の効率化を推進
5. 業務システムを活用した顧客情報の管理と活用
6. ウェブ解析士・上級ウェブ解析士資格取得に向けた支援
7. 計画的なBIツール内製化に向けた研修の受講
8. 業務への生成AIの活用について、定期的な研修を実施

# DX推進の取り組み - 今後の情報発信

現在、当社ではITツール導入やデータ活用による生産性向上を目標に、情報環境整備に取り組んでいます。

Google Appsの活用やITツール導入による業務時間削減は、一定の成果を上げることができていますが、会社内の業務変革を実現するためにも、データの分析に力を入れて課題の抽出・原因の特定、適切な対策の実施に繋げていくことが重要と認識しています。

そのような認識の基に、お客様に関するデータや会計データを中心にデータの蓄積・分析を繰り返し、データに基づく意思決定ができるように推進しています。

合わせて、データ分析ができる人材育成のために、定期的な研修の実施や、資格取得支援に会社として取り組んでいます。

当社では、今後もDXの推進の状況につきまして、ホームページの「DXへの取り組み」として随時公開して参ります。